

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	509 ふれあいの里施設管理運営事業								
戦略プラン					担当部課 係名	経済部筑波ふれあいの里			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-060110-11	ふれあいの里施設管理運営に要する経					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解	
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行			
						<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
筑波山の豊かな自然環境の保全や活用を通じて、学童や都市生活者及び市民等が自然環境や農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図る。				<ul style="list-style-type: none"> ・実習館、コテージ、キャンプ場等の宿泊施設の運営 ・バーベキュー場、そば打ち体験施設、染色体験施設等の運営管理 ※行政改革アクションプラン「12 指定管理者制度の活用」 該当事業					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・そば打ち体験、染色体験事業 ・つくば環境フォーラムへの委託事業（年11回） ・食堂のエアコン設置工事 ・コテージへのWi-Fi設置工事 ・バーベキュー場浄化槽設置工事 				<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の樹木の剪定や枯れ木の伐採、草刈りを実施して環境保全に努めた。 ・委託事業「筑波山麓自然学校」は、9回予定した。（3月は中止） ・計画した修繕工事は、予定どおり実施した。 					
成果				課題					
敷地内の環境保全や施設修繕を実施したことで、安全で快適な憩いの場の提供ができた。				施設の計画的な修繕を行い、利用者の満足度の向上を図る必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）									
老朽化した施設修繕を計画的に実施し、サービスの向上を図る。 施設の利用率向上に向けた取組を実施する。									
指標の推移									
1	指標名	年間宿泊者数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	
	実績	9,278.0	9,654.0	9,578.0	9,418.0	9,827.0	8,545.0	0.0	
	指標の概要	実習館・コテージ・キャンプ場の年間宿泊者数							
2	指標名	施設利用者数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	
	実績	8,300.0	9,156.0	8,564.0	7,853.0	7,469.0	7,293.0	0.0	

	指標の概要	そば打ち体験、染色体験、バーベキュー施設の年間利用者数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	33,479	0	0	0
	一般財源	(千円)	17,045	0	0	0
事業費計		(千円)	50,524	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	0.00		
		時間外勤務 (時間)	18.50	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	21,217	0		
事業コスト		(千円)	71,741	0		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費20,743千円 (消耗品費1,925千円、燃料費1,984千円、光熱水費7,352千円、賄材料費6,405千円等) ・ 役務費1,642千円 (インターネット通信料540千円、汲取手数料432千円、水質検査49千円、浄化槽点検50千円等) ・ 委託料30,054千円 (清掃・管理17,666千円、消防設備点検276千円、浄化槽維持管理497千円等) ・ 使用料及び賃借料 (土地賃借料3,441千円、寝具賃借料4,626千円等) ・ 工事請負費12,056千円 (BBQ施設屋根・外壁塗装工事10,868千円等) ・ 原材料費175千円 ・ 備品購入費245千円

予算の方向性	理由	計画的な施設修繕を図りながら、サービスの向上に努めたい。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		